

科目名	総合実習	単位数	4単位	学科・学年	畜産総合 科 2年																																																							
使用教科書				副教材等																																																								
学習目標	<p>体験学習を通して畜産に関する知識技術を修得します。2年生は主に科目「畜産」と絡め養豚分野の実習を多く行いますが、そのほか酪農や養鶏さらには畜肉加工等も同時に行いながら畜産業への理解を深め、自営や関連産業への従事者養成を図ります。また、仕事に従事するうえで必要な態度や協調性を身につけるべく勤労観を養います。</p>																																																											
学習評価	<p>○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめり（定期考査までを学習のひとまとめり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。</p> <table border="1"> <tr> <td>①関心・意欲・態度</td> <td colspan="5">動物への興味関心が強く、作業に積極的に参加しているか。開始時間を厳守し、正規の服装でできているか。</td> </tr> <tr> <td>②思考・判断</td> <td colspan="5">指示に対して内容を十分に把握して行動が取れているか。場面ごとに適切な判断ができ、自主性を持った行動が取れるか。</td> </tr> <tr> <td>③技能・表現</td> <td colspan="5">作業能率の良し悪しと正確な取り組みができるか。集団での取り組みにおける協調性と意思疎通が十分にできているか。</td> </tr> <tr> <td>④知識・理解</td> <td colspan="5">前回作業の反省ができ、段階的に理解ができているか。作業体系の理解ができ、安全衛生への配慮はできているか。</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">  </td> <td>評価方法\観点</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学習状況観察</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鑑定競技</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>◎</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ノート提出</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>定期考査</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </table> <p>※表中の◎は観点の中でより重視するところです。</p>					①関心・意欲・態度	動物への興味関心が強く、作業に積極的に参加しているか。開始時間を厳守し、正規の服装でできているか。					②思考・判断	指示に対して内容を十分に把握して行動が取れているか。場面ごとに適切な判断ができ、自主性を持った行動が取れるか。					③技能・表現	作業能率の良し悪しと正確な取り組みができるか。集団での取り組みにおける協調性と意思疎通が十分にできているか。					④知識・理解	前回作業の反省ができ、段階的に理解ができているか。作業体系の理解ができ、安全衛生への配慮はできているか。						評価方法\観点	①	②	③	④		学習状況観察	◎	◎	◎	◎		鑑定競技	—	—	—	◎		ノート提出	○	○	○	○		定期考査	—	—	—	—	
①関心・意欲・態度	動物への興味関心が強く、作業に積極的に参加しているか。開始時間を厳守し、正規の服装でできているか。																																																											
②思考・判断	指示に対して内容を十分に把握して行動が取れているか。場面ごとに適切な判断ができ、自主性を持った行動が取れるか。																																																											
③技能・表現	作業能率の良し悪しと正確な取り組みができるか。集団での取り組みにおける協調性と意思疎通が十分にできているか。																																																											
④知識・理解	前回作業の反省ができ、段階的に理解ができているか。作業体系の理解ができ、安全衛生への配慮はできているか。																																																											
	評価方法\観点	①	②	③	④																																																							
	学習状況観察	◎	◎	◎	◎																																																							
	鑑定競技	—	—	—	◎																																																							
	ノート提出	○	○	○	○																																																							
	定期考査	—	—	—	—																																																							
履修上の注意	<p>教科内容は実技がほとんどです。正規の時間割に組み込まれた週2時間の総合実習(教科内実習)2単位と放課後や長期休業中に行う教科外実習(特別実習)の2単位、計4単位で構成されています。特に特別実習は100%出席で評価されますので無断欠席等には注意してください。また、評価は取り組む姿勢を一番に考えますが、集団の中での作業となりますので次の項目にも注意を払います。〔服装・礼儀・協調性・安全衛生意識〕さらに、時間を守ることも重要です。</p>																																																											

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動 (評 価 方 法)
1	4	教科内実習 1. 豚の特性	8	豚の習性を理解させることにより、養豚の基本的飼養管理技術を修得させる。	豚舎の清掃と飼料給与
	5	2. 飼料作物	4	飼料品種の特性の理解。	夏作飼料の播種
	6	3. 繁殖(種付け)	6	発情兆候の理解。	繁殖豚の飼養管理
	7	4. 病気と予防	6	健康観察の要点と衛生管理の重要性を知る。	体温の計測。豚舎消毒。
2	9	5. 繁殖(分娩ほ育)および子豚期の管理	18	分娩介助方法の習得。離乳時期の選定ができる。	分娩房の消毒準備。去勢。離乳。飼料の切替。
	10 ～ 2	6. 肥育	18	肥育過程に応じた飼料給与ができるようにする。	一般管理。体重測定。飼料要求率の算出。
	11	7. 飼料作物	2	緑餌作物の繁殖豚への利用価値を知る。	緑餌作物の播種。
	11 ～ 12	8. 食肉加工	4	食肉加工に対する知識及び加工手順を理解させ、安全衛生に努める。	プレスハム加工。 (刃物及び加工機械の操作)
3	2 3	9. 家畜審査	4	家畜審査を体験させ、能力の高い豚を見極める能力を養う。	審査の実施(記述方式)。
		小 計	70		
年 間	4 ～ 3	教科外実習 1. 繁殖豚及び肥育豚の飼養管理	40	養豚の一般管理技術を養成する。	一般管理作業。
	3 8	2. 飼料作物の栽培	16	作物別の播種方法を理解させ、基礎的栽培方法を習得する。	夏作：3月播種 冬作：8月播種
	7	3. 貯蔵飼料調整実習 *一般管理の実習は年間を通じて行う。また、種付け等の実習も種付け計画等により時期が変更する場合もある。	14	サイレージの調整技術を修得する。	貯蔵飼料：デントコーン 刈り取り1日(水分調整) 詰め込み1日(サイロ) 評価基準は、教科内実習と同様です。長期休業中の実習開始時刻等は、事前に通知するので時間に遅れないようにしてください。 なお、教科外の実習(放課後当番実習・長期休業中の実習等)の出席は100%で評価を行います。欠席がある場合、年度内に補充実習をすませないと未評価となるので注意してください。
		小 計	70		
		合 計	140		